

CASE

4

規模が大きい歯科医院でのサブカルテ活用例

樽味 寿

■略歴

1989年 岡山大学歯学部卒業後、大阪大学大学院歯学研究科(歯科保存学講座)に進み、その後、医員、助教を務めた。

2003年 たるみ歯科クリニック開業

■スタッフ構成

常勤歯科医師3名、非常勤歯科医師7名(阪大保存科・小児歯科からの派遣を含む)、研修歯科医1名、常勤歯科衛生士8名、非常勤歯科衛生士4名、産休歯科衛生士1名、常勤歯科技工士1名、常勤受付・助手3名、非常勤受付・助手3名と、30名を超えるスタッフが在職している。また

当院は、大阪大学、岡山大学、鹿児島大学の協力型臨床研修施設になっており、2008年から現在に至るまで、大阪大学10名、岡山大学4名、鹿児島大学1名の研修が修了している。

■立地

当院がある医療ビルの1階には整形外科と薬局、2階に当院と内科、3階にデイサービスがある。ビルは古くからの造園が区画整理された新しい街並みにあり、近隣には若いファミリーからお年寄りまで幅広い年齢層が住んでいる。ユニットは10台。

■患者の内訳

図1に、2015年に当院を受診した

患者の内訳を示す。来院者の67%、すなわち2/3の方が年に1回以上歯科衛生士の予約をとってメンテナンスを受けていることから、当院の受診者には定期的健康管理の意識が定着していると考えている。図2に、メンテナンスを受けた方々の年齢別・男女別割合を示す。当院では、ファミリーで受診される方が多く、小児歯科専門医が複数在職していることもあり、19歳以下のメンテナンス受診者が全体の45%と高い割合となっている。

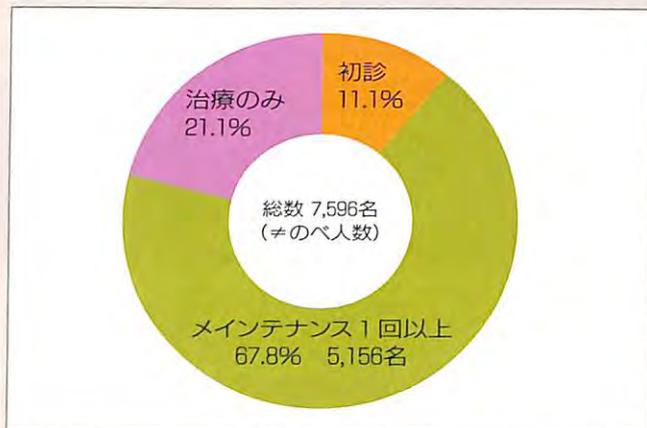


図1 2015年の来院患者内訳。5年連続メンテナンスを受診したのは、2,065名(メンテナンス受診者の40%)。

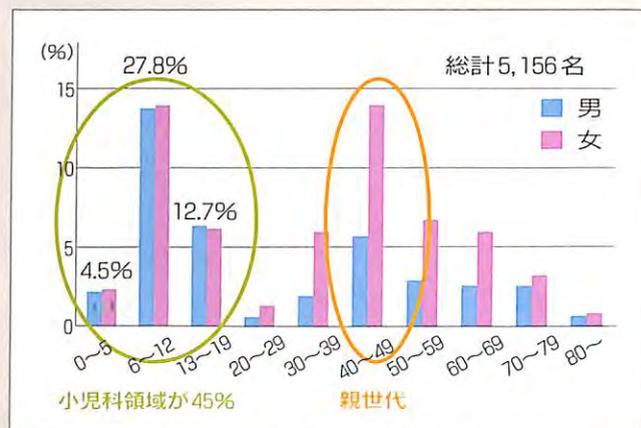


図2 2015年メンテナンス患者の年代別・男女別割合。

1. 自院のサブカルテの紹介

当院では、患者の年齢、口腔内の現状とこれまでの経緯、これから想定されることを考え(=時間軸の意識)、口腔内の変化を診ながら患者と長くかかわっていくヘルスケア歯科診療に、スタッフ全員で取り組んでいる(2012年に日本ヘルスケア歯科学会・認証診療所)。しかし開業からの2年間は目の前の治

療に追われ、患者の記録の大半はパノラマエックス線写真と主訴部位のデンタルエックス線写真のみであった。口腔内写真も特殊な症例でしか撮っておらず、サブカルテもなかった。

開業3年目に歯科衛生士教育を兼ねて院内症例検討会を行うようになると、記憶を頼りに振り返るこ

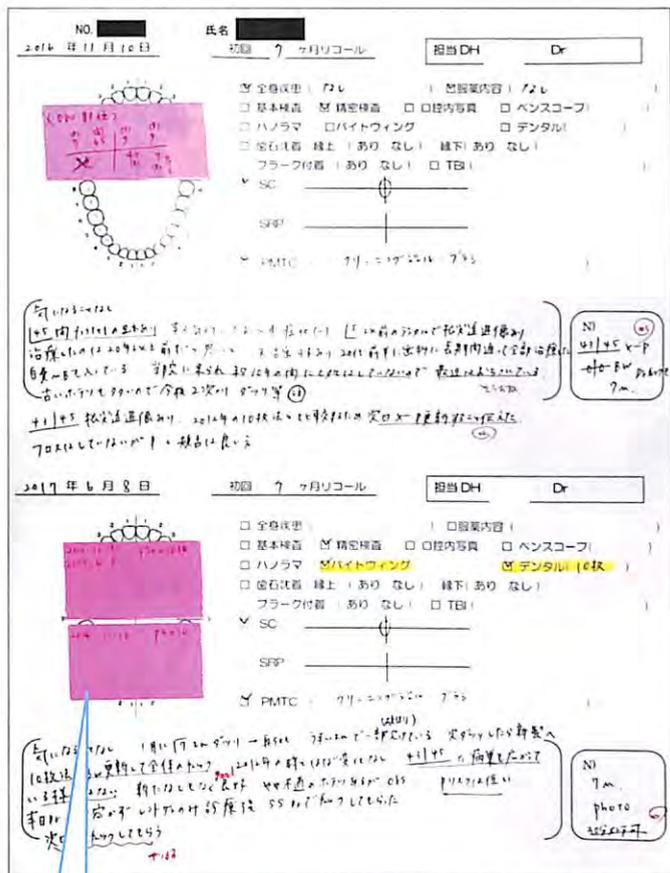


図3 サブカルテ例。

撮影日時が瞬時にわかる工夫
撮影日時が瞬時にわかるよう、
剥がせるテープに記載して最新
の箇所に貼っている



内容だけでなく、剥がせるテ
ープを用いて最新情報を更新でき
る工夫がGood! (by. 藤木)

とが予想以上に多く、口腔内写真などの記録とともにサブカルテの重要性に気づいた。歯科衛生士も、それぞれの患者に関するさまざまなことを記録しておかないと次のメンテナンスにつながらないことに気づき、歯周メンテナンスのサブカルテ形式を歯科衛生士が中心になって考えた。さまざまな試行錯誤を経て、今、特徴的なのが、リスク部位や経過観察部位、口腔内写真や10枚法のデンタルエクス線写真の撮影日時が瞬時にわかるよう、剥がせるテープに記載して最新の箇所に貼っていることである(図3)。

一方、小児歯科のサブカルテは小児患者の現状や次回来院時のチェックポイント、そして保護者への

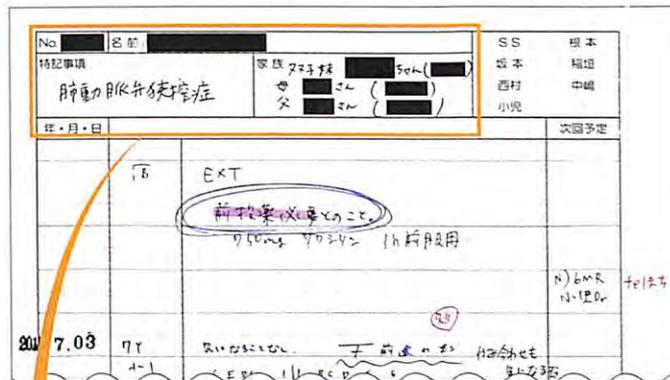
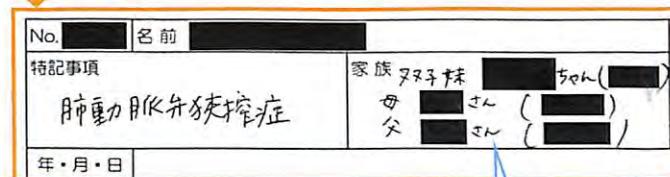


図4 家族のカルテ番号記入例。



家族単位の診療がとても
重要でGood!
(by. 藤木)

把握できる範囲で
家族のカルテ番号も記入
もしファミリーの誰かがメイン
テナンスを中断していることが
わかれば、どんな状況かそれと
なく聞くようにしている

指導内容を小児歯科医自らが記入している。当院にはファミリーで来られる方が多いので、メンテナンスの内容だけでなく、その患者やファミリーの出来事なども記載している。また、担当歯科衛生士が把握できる範囲で家族のカルテ番号も記入している(図4)。もしファミリーの誰かがメンテナンスを中断していることがわかれば、どんな状況かそれとなく聞くようにしており、単にメンテナンスの予約を忘れていただけであれば来院を促すこともある。あるいは、そのファミリーの子どもが受験や部活動などで来院が難しいことがわかった場合は、間食やスポーツドリンクに対する食育指導を保護者に行っている。

2. サブカルテを活用した症例

当院では、口腔内の疾患に目を向けるだけでなく、患者の望みにも配慮した治療計画を立てている。たとえば、歯根破折歯において臨床症状がなく、患者が抜歯を望んでいない場合、当院では長期観察する

ことが多い。その際、長期観察するメリットとデメリットや抜歯に踏み切る判断基準を患者に伝えるとともに、その内容をサブカルテに記載して、歯科衛生士と共有している(図5, 6)。

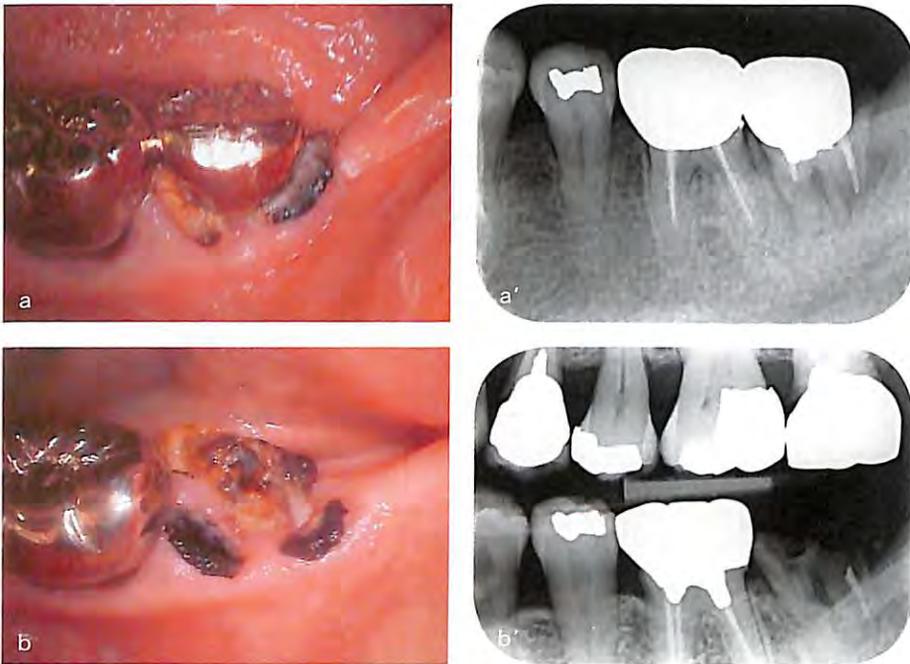


図5 a~b' 歯根破折を認めたが、患者の希望に沿い、長期観察(2016年1月に抜歯)。a, a': 2009年11月, b, b': 2015年6月。

NO. [redacted] 氏名 [redacted]
2015年11月25日 初回 5ヶ月リコール 担当DH [redacted] Dr. [redacted]

□ 全身疾患 () □ 口腔内容 ()
 基本検査 精密検査 口腔内写真 ベンスコープ ()
 パノラマ バイトウィング デンタル ()
 歯石沈着 線上 (ありなし) 線下 (ありなし)
 プラーク付着 (ありなし) □ TBI ()
 SC SFP
 PMTC ()

1) 歯根破折の経過観察 歯肉退縮の経過
 2) 歯根破折の経過観察 歯肉退縮の経過
 3) 歯根破折の経過観察 歯肉退縮の経過
 4) 歯根破折の経過観察 歯肉退縮の経過

NO 4月 7月 10月

2015年6月1日 初回 6ヶ月リコール 担当DH [redacted] Dr. [redacted]

□ 全身疾患 () □ 口腔内容 ()
 基本検査 精密検査 口腔内写真 ベンスコープ ()
 パノラマ バイトウィング デンタル ()
 歯石沈着 線上 (ありなし) 線下 (ありなし)
 プラーク付着 (ありなし) □ TBI ()
 SC SFP
 PMTC ()

1) 歯根破折の経過観察 歯肉退縮の経過
 2) 歯根破折の経過観察 歯肉退縮の経過
 3) 歯根破折の経過観察 歯肉退縮の経過
 4) 歯根破折の経過観察 歯肉退縮の経過

NO 6月

図6 a, b 図5の患者のサブカルテの一例。当院では、口腔内の疾患に目を向けるだけでなく、患者の望みにも配慮した治療計画を立てている。

患者に伝えた内容をサブカルテにも記録
 長期観察するメリットとデメリットや抜歯に踏み切る判断基準を患者に伝えるとともに、その内容をサブカルテに記載して、歯科衛生士とも情報共有を図る

Good!
 一人ひとりの患者に寄り添う診療がGood!
 (by. 藤木)

3. サブカルテの利点と今後の課題

①サブカルテを使ってよかったと思うこと

患者と長くかかわっていくためには、口腔内だけでなく、その人を診る必要がある。サブカルテは、メンテナンスを通じて得られた患者のさまざまな情報を歯科医師と歯科衛生士で共有でき、歯周基本治療やメンテナンスの経過あるいは患者の生活状況を踏まえ、今後の方針を検討できるツールである。しかも文書として残るので、数年前の状況を記憶に頼らず、あるいは担当歯科衛生士が変わってもメンテナンス内容や患者の人物像を簡単に把握できる利点がある。

当院は開院15年目に入り、歯科医師の入れ替わりは少ないものの、歯科衛生士は結婚・出産などで徐々に世代交代している。歯周メンテナンスは担当制にしているため、歯科衛生士の退職あるいは産休が決まれば、サブカルテとは別に、当院での治療とメンテナンス内容、リスク部位、人柄、家族構成などを記載した引き継ぎシートを歯科衛生士が記入している(図7)。

②これから改善していきたいこと

小児サブカルテの管理は小児歯科医に任せているが、筆者は院長として全患者の歯周メンテナンス・サブカルテに目を通している。ただしその量が多いので、数日チェックを怠ると膨大なカルテが溜まってしまう。カルテはその日のうちに目を通すことを、習慣にしていける必要があると感じている。

一方、歯科衛生士は、その日のメンテナンス内容や会話を忘れないよう、キャンセルが出ればその空き時間を利用して、空き時間がなければ昼休みなどを利用して、できる限りその日にサブカルテを書くようにしている(図8)。診療終了後の片付けや準備は主に歯科助手が受け持ち(時には歯科医師も手伝う)、歯科衛生士はサブカルテ記入を優先するという方針をスタッフに周知しているが、今後、もっと時間を有効に使えるよう、たとえば患者エピソードを短くするなど、必要なことを端的にまとめる意識を植え付けていきたい。

患者さんの治療内容共有シート			
カルテNo.	氏名	年齢	性別
【担当歯科医師】	【担当歯科衛生士】	セグメント	【通院可能な曜日、時間等、予約を数取るの注意事項など】
院長 △			予約日付 (予約希望)
【メンテナンスの目標、方針】		【共有すべきポイント100%部位、当院での自費治療部位など】	
① 歯磨き指導	歯磨き指導(歯ブラシの持ち方、歯磨き粉の塗り方)	① 歯周ポケット	歯周ポケットの測定、歯周ポケットの清掃
② 歯垢の除去	歯垢の除去(歯垢の除去剤の使用)	② 歯石	歯石の除去(歯石除去剤の使用)
③ 歯肉のケア	歯肉のケア(歯肉のケア剤の使用)	③ 歯肉	歯肉のケア(歯肉ケア剤の使用)
④		④	
⑤		⑤	
【保健状況、内服薬、アレルギーなど】		【全身疾患を含めた特記事項、患者性情、家族愛護歴など】	
タバコ 吸う 吸わない 禁煙した(歳から)	本数(本数)	本数(本数)	本数(本数)
アレルギー あり(なし) かかりつけ医氏名()			
内服薬 あり(なし) 降圧剤 抗血栓薬 BP製剤			
リスク高い() リスク低い() どちらもない() その他()	リスク高い() リスク低い() どちらもない() その他()	リスク高い() リスク低い() どちらもない() その他()	リスク高い() リスク低い() どちらもない() その他()
【歯式】			

スタッフ交代時には引き継ぎシートを活用
サブカルテとは別に、治療とメンテナンス内容、リスク部位、人柄、家族構成などを記載した引き継ぎシートを歯科衛生士が記入

Good!
スタッフが多数の歯科医院ならではの発想か、引き継ぎ専用紙がGood! (by. 藤木)



図8 歯科衛生士は、その日のメンテナンス内容や会話を忘れないよう、空き時間を利用して、できる限りその日にサブカルテを書くようにしている。

◀図7 患者の治療内容共有シート。